



実りある2学期に

校長 金澤 勝也

長い夏休みが終わり、本日から2学期が始まりました。猛暑日が続いた今年の夏でしたが、この間、本校としては、保護者の皆様、地域の皆様のおかげで大きな事故等もなく、本日の始業式を迎えられたことに感謝申し上げます。

夏休みに入り、7月20日(日)に茨城県吹奏楽コンクール県北地区大会が開催され、吹奏楽部がB部門に出場し、「風之舞」を演奏しました。これまでの練習の成果を十分に発揮し、すばらしい演奏を披露することができました。

また、7月22日(火)から県中学校総合体育大会が開催され、男子ソフトテニス部団体戦・個人戦、卓球部団体戦・個人戦、剣道部個人戦に出場し、県北代表としてそれぞれ精一杯試合に臨むことができました。また、クラブチームに所属し、県大会等で活躍した生徒もいました。

8月26日(火)には、英語プレゼンテーションフォーラム県大会がつくば市のつくば国際会議場で開催され、県北代表に選ばれた本校チーム(2・3年生5名)が出場しました。市・県北大会に向けて始めた練習をこの夏休み中も継続して続け、大会当日もすばらしい発表を披露しました。

この夏休み中、本校生徒がこのように多方面にわたり活躍したことを大変うれしく、そして誇りに思います。

さて、この2学期は、年度の中で1番長い学期になります。新学期を迎えて、新鮮な気持ちで頑張ろうという決意を新たにしていることと思います。その気持ちを大切に、「今」すべきことに精一杯、全力で取り組むことに努めてほしいと思います。そして、「今、自分がすべきことは何か。今、自分にできることは何か。」など、「今」を意識して、一日一日を大切に生活し、充実した2学期になることを期待します。

学習面では、この期間の頑張りが、進級・進学に向けて大きく影響する大切な時期です。1学期や夏休みの取組を振り返り、2学期の新たな目標と具体的な対策を立て、課題解決に努めていくことが大切です。また、今学期は文化祭(小松ヶ丘祭)、新人体育大会等の大きな行事が予定されています。子どもたちには、その一つ一つに全力で取り組み、実りある2学期にしてほしいと思います。また、学級や部活動で掲げた目標の実現に向け、自分の責任を果たすことや仲間と協力すること等、様々な経験を通して、自分自身を磨き、学級や学年、部活動における仲間との絆や団結力を深めてほしいと思います。学校としても、子どもの主体性や協調性等の人間性を育む学びの機会と捉え、支援していきますので、ご家庭でも応援していただくと幸いです。

最後になりましたが、この2学期が子どもたちにとって実り多きものになるよう、保護者及び地域の皆様方には、引き続き本校の教育活動への温かなご支援・ご協力のほどをお願い申し上げます。



【県中学校総合体育大会・卓球】



【県中学校総合体育大会・ソフトテニス】



【英語プレゼンテーションフォーラム県大会】

【お知らせ】裏面に、今年度4月に第3学年対象に実施した「令和7年度全国学力・学習状況調査」の分析結果を掲載しました。調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面ですが、今回明らかになった成果・改善点を意識して今後も教育活動に取り組んでまいります。

令和7年度全国学力・学習状況調査分析結果

1

教科を中心とした調査の結果（課題のあった問題 等）

- ・理科：「地層に関する問題」に課題
- ・国語科：「言葉の特徴や使い方に関する事項」に課題
- ・数学科：「思考・判断・表現力」問題、「記述式」問題に課題

2

生徒質問紙調査の結果【強み：肯定的回答が9割以上の項目】

- ・朝食摂取や起床時刻など、規則正しい生活習慣が定着
- ・教師との信頼関係が構築されている
- ・他者を思いやる道德観が高い
 - ※ いじめはどんな理由があってもいけないことだ (肯定的回答100%)
 - ※ 人の役に立ちたい

3

生徒質問紙調査の結果【強み】

- ・将来の目標意識が明確
- ・課題解決や発表の工夫など、主体的な学習態度が定着
- ・学級活動・道德での深い話し合いへの参加 (+20ポイント以上)
- ・数学科・理科の授業内容への理解度と、国語科の将来への有用性認識

4

生徒質問紙調査の結果【弱み】

- ・ICT機器を活用した情報整理能力
 - ※ 特に、図表・グラフ・思考ツールなどの活用スキルが不足

5

その他の傾向

- ・塾・家庭教師の利用率が全国・県平均より高い

本調査結果から、本校生徒は生活習慣や道德意識が高く、主体的な学習姿勢や将来への目標意識も強いことが分かりました。特に学級活動や道德での話し合い活動への取組においては、全国・県平均を大きく上回っています。一方で、特に数学科での思考・判断・表現力及びICT活用能力については、改善の余地があることが分かりました。対応策として、数学科では特に、知識・技能の習得に向けた取組みと並行して、事象を説明する記述問題などに、より重点的に取り組んでまいります。また、各教科においては、図表やグラフ・思考ツールを活用した学習活動の展開などを意識して授業を実践していきたいと考えています。